

臨床研究に関するお知らせ (2011-070)

【研究課題名】

リラグルチドの有害事象発現状況に関する後方視的調査

【内容】

新しい糖尿病薬リラグルチド（商品名：ビクトーザ®）には、副作用として吐き気や嘔吐などの胃腸障害があることが知られています。しかし、どのような方に副作用が出やすいか、副作用を予防するにはどうすればいいかについてはまだ明らかにされていません。

そこで副作用対策を検討するため、リラグルチドを投与された方の有害事象（薬が原因と判断された有害事象が副作用です）の発現状況とその要因について過去のカルテ情報をもとに調査研究を行います。

【対象】

2010年8月から2011年11月の期間中に、当院でリラグルチドを投与された方が対象となります。

【方法】

カルテ情報の調査を行い、副作用の発現状況、リラグルチドの投与状況を調査します。

この研究では対象となる方に直接治療などを行うことはありません。過去の血液・尿試料、検査結果を用いた研究であり、本研究に参加することによる患者さんの利益はありません。不利益として個人情報の漏洩の危険性があります。

この研究で得られた結果は、学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、対象となる方が特定できないようにし、個人情報などプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

この研究を行うに当たり、対象となる方が費用を負担することはありません。また謝礼もありません。

この調査の対象となる方にご協力いただけるかどうかは自由意思です。もし、お断りになられたとしても、治療などの点においてあなたの不利益になるようなことはありません。

参加を希望されない場合には、2012年3月31日までに金沢大学附属病院薬剤部 崔（さい）までお知らせください。

2011年12月

金沢大学附属病院 薬剤部

研究実施責任者 崔 吉道

電話 076-265-2046